

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-01		
施設名	道路				
所在地					
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築		国・都	区債	一般財源
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造	階層				
面積	敷地面積				1,258,761 m ²
	延床面積				- m ²
設置目的・経緯	街の骨格を形成するとともに、交通の発達に寄与し、公共の福祉を増進するため、道路網を整備している。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	道路法 荒川区管理通路条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	● エレベーター ● 点字ブロック	○ だれでもトイレ ● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から -	まで
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道路 : 988路線 ・管理通路 : 95路線 					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等	無電柱化整備延長 (m)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
	特別区道延長 (m)	10,307	10,307	10,307	10,307	10,537
	管理通路延長 (m)	197,667	197,822	197,822	197,935	197,935
		7,775	7,775	7,775	7,775	7,898
に指定 用等 管理 費						
備考						

III 財務諸表

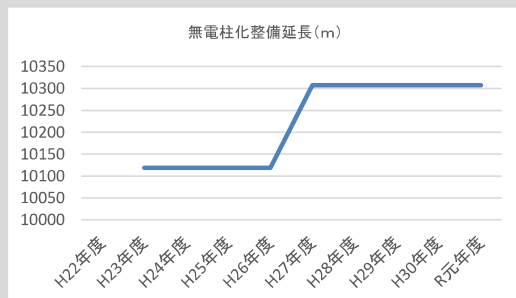
(単位:千円)

	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	267,132	288,653	21,521	国庫支出金	9,500	1,800	▲ 7,700
	維持補修費	379,542	376,534	▲ 3,008	都支出金	21,762	17,677	▲ 4,085
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	4,180	4,180	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	71,022	71,022	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	31,262	19,477	▲ 11,785
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 736,064	▲ 795,252	▲ 59,188
	その他行政費用	49,630	74,340	24,710	金融収支差額(d)	▲ 1,441	▲ 1,285	156
	行政費用合計(b)	767,326	814,729	47,403	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 737,505	▲ 796,537	▲ 59,032
特別費用(g)	2,581	0	▲ 2,581	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 2,581	0	2,581	当期収支差額(e)+(h)	▲ 740,086	▲ 796,537	▲ 56,451	
貸借対照表	流動資産	367	297	▲ 70	流動負債	13,538	16,244	2,706
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	13,538	16,244	2,706
	有形固定資産	185,902,289	186,450,274	547,985	賞与引当金	0	0	0
	土地	174,982,029	175,256,385	274,356	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	114,436	98,192	▲ 16,244
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	114,436	98,192	▲ 16,244
	工作物等	11,805,660	12,150,310	344,650	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 885,400	▲ 956,422	▲ 71,022	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	127,974	114,436	▲ 13,538
建設仮勘定	75,358	101,930	26,572	正味財産	185,850,040	186,438,065	588,025	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	185,850,040	186,438,065	588,025	
資産の部合計	185,978,014	186,552,501	574,487	負債及び正味財産の部合計	185,978,014	186,552,501	574,487	
備考	行政費用の物件費は光熱水費及び委託料、維持補修費は委託料の増加が主な要因でそれぞれ増えたと考えられる。また、固定資産の土地は優先整備路線等、工作物等は細街路拡幅工事等の事業進捗が主な増加要因となっている。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	3	7	8	7.9	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	668	600	622	661	
	区民1人当たり年間コスト(円)	3,864	3,470	3,599	3,821	
	1日当たりコスト(円)	2,257,011	2,026,627	2,102,263	2,232,134	
	区道1m当たりコスト(円)	3,902	3,504	3,634	3,859	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
目標指標	指標名・単位						
	道路延長(m)	目標値 実績値	- 197,667	- 197,822	- 197,822	- 197,822	- 197,882
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	バリアフリー化、安全対策、無電柱化のニーズが高い。						
現状・課題	<p>○平成26年度に実施した道路ストック総点検の結果を踏まえ、危険な箇所については既に対応が完了しているが、引き続き損傷や陥没等の早期発見に努めていく必要がある。</p> <p>○路面下で発生している空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がるほか、災害時には避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念される。</p> <p>○都市計画道路については、整備率58.1%で、近年は変動のない状況となっており、整備箇所周辺の建物状況や防災面での緊急性等から優先順位を設定して取り組む必要がある。</p> <p>○電柱が防災性や安全な通行、景観形成を阻害しているため、都市計画道路以外の既設道路や歩道のない路線についても、無電柱化を推進する必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	<p>○道路ストック総点検の成果を基に、引き続き計画的に補修を実施する。</p> <p>○路面下空洞調査の結果を踏まえ、計画的に補修工事等を実施する。</p> <p>○都市計画道路の整備は、地域の防災性や安全性等を考慮し、優先順位を定めて計画的に実施する。</p> <p>○無電柱化推進計画を策定し、計画的な整備を実施する。</p>						
議会、利用者等からの意見	<p>○平成27年9月決特 無電柱化の推進について</p> <p>○平成29年2月予特 道路下空洞調査について</p> <p>○平成30年2月予特 排水性道路の整備について</p> <p>○令和元年6月 車道と歩道の段差解消について</p>						



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-02		
施設名	橋梁				
所在地	8か所				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築		国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造	階層				
面積	敷地面積				m ²
	延床面積				m ²
設置目的・経緯	人の移動や物資の輸送のための施設として架橋している。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	道路法 管理通路条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	● エレベーター ● 点字ブロック	○ だれでもトイレ ○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から — まで	
事業内容	・第一口養生跨線道路橋：昭和41年架橋 橋長 92.50m 幅員 9.0m フレドカメ橋 ・下御隠殿坂跨線道路橋：平成 7年架橋 橋長 91.98m 幅員14.2m ラーメン橋 ・紅葉坂跨線人道橋：昭和 3年架橋 橋長106.60m 幅員 4.0m I形桁橋 ・ペDESTリアンデッキ3・4号：平成 20年架橋 橋長 39.4m 幅員4.59~6.59m 鋼桁橋 ・ペDESTリアンデッキ5号：平成 20年架橋 橋長 21.5m 幅員4.2m 鋼桁橋					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	—				
	休日	—				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
指定管理 に係る費用						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	1,868	4,550	2,682	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	50	29,646	29,596	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	65,751	65,751	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 67,669	▲ 99,947	▲ 32,278
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	67,669	99,947	32,278	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 67,669	▲ 99,947	▲ 32,278
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 67,669	▲ 99,947	▲ 32,278	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	2,345,600	2,279,849	▲ 65,751	賞与引当金	0	0	0
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	3,891,693	3,891,693	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 1,546,093	▲ 1,611,844	▲ 65,751	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
建設仮勘定	60,215	60,215	0	正味財産	2,405,815	2,340,064	▲ 65,751	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	2,405,815	2,340,064	▲ 65,751	
資産の部合計	2,405,815	2,340,064	▲ 65,751	負債及び正味財産の部合計	2,405,815	2,340,064	▲ 65,751	
備考	行政費用では、減価償却費がそのほとんどを占めている。なお、元年度については道路付属物定期点検においてペDESTリアンデッキ及び溝橋の点検を実施したことにより、維持補修費が増となっている。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	22	38	40	41.4	
	区民1人当たり年間コスト(円)	330	444	317	469	
	1日当たりコスト(円)	192,800	259,244	185,395	273,827	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: 荒川区橋梁長寿命化修繕計画)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	橋梁点検・調査数				2	
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他()	<input type="radio"/> 他施設との統合	<input type="radio"/> 廃止		
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	バリアフリー化へのニーズが高い。					
現状・課題	<input type="radio"/> 紅葉坂跨線人道橋 ・老朽化が進み、バリアフリー化にも対応していない。 <input type="radio"/> 橋梁全般 ・老朽化及びそれに伴う維持管理費の増大に対応する必要がある。 ・跨線道路橋は、鉄道営業路線上空を跨いでおり、補修工事を行うには、莫大な経費と工事期間が必要となる。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 紅葉坂跨線人道橋 ・バリアフリー化の一環として、エレベーターの設置を検討していく。 <input type="radio"/> 橋梁全般 ・従来の事後保全型の維持管理から、予防保全型の維持管理へ転換を図る。 ・跨線道路橋については、鉄道事業者と十分に協議を行い、計画的な補修を検討していく。 ・橋梁長寿命化を図るため、道路法に基づく橋梁定期点検・調査を実施していく。					
議会、利用者等からの意見	<input type="radio"/> 平成27年度11月会議 紅葉坂跨線人道橋の架替について <input type="radio"/> 平成28年度2月会議 紅葉坂跨線人道橋の整備について <input type="radio"/> 平成30年度2月会議 紅葉坂跨線人道橋のバリアフリー化について <input type="radio"/> 令和元年決特 紅葉坂跨線人道橋のバリアフリー化について					

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-03		
施設名	荒川自然公園				
所在地	荒川八丁目25番3号				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和47~49年	136,160	国・都	区債
	増改築①	昭和52~53年	306,580		一般財源
	増改築②	平成 5~6年	937,300		
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和49年 4月26日	職員数	25	0	
構造					
面積	敷地面積		61,068㎡		
	延床面積		-㎡		
設置目的・経緯	周辺環境を改善するため、三河島処理場（現三河島水再生センター）を覆蓋して公園を整備。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	都市公園法 荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	●エレベーター ●点字ブロック	●だれでもトイレ ●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社富士植木	期間	平成31年 4月 1日 令和 4年 3月31日	から まで	
事業内容	維持管理、施設利用許可、利用案内、植栽管理、動物等管理、園内巡視、施設等保守管理、昇降機管理、修繕、備品管理、利用促進、腐葉土維持管理、ホタル観賞用施設設置・撤去					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前7時～午後5時（季節・区域において異なる）				
	休日	毎月第1・第3木曜日、年末年始（12月29日～翌年1月3日）				
施設基本データ等	交通園年間利用者数（人）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込み）
	庭球場年間利用者数（人）	197,622	159,694	157,245	142,814	110,000
	野球場年間利用者数（人）	30,305	30,815	29,220	26,074	20,000
	年間団体利用件数（件）	4,251	4,177	3,859	4,898	3,500
		117	107	117	102	60
に指定 管理等 費用						
備考						

III 財務諸表

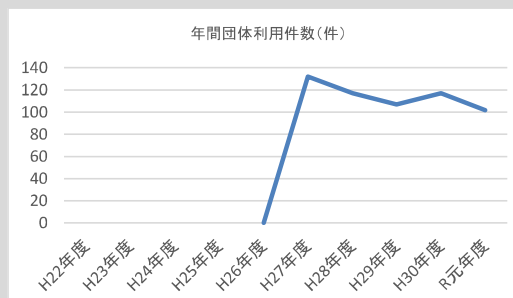
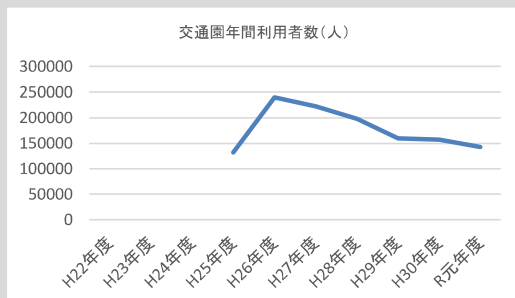
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	73,517	82,962	▲ 9,445	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	9,333	2,699	▲ 6,634	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	89	31	▲ 58	使用料及び手数料	8,753	8,625	▲ 128
	減価償却費	10,334	11,151	817	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,753	8,625	▲ 128
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 113,993	▲ 108,971	5,022
	その他行政費用	29,473	20,753	▲ 8,720	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	122,746	117,596	▲ 5,150	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 113,993	▲ 108,971	5,022
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 113,993	▲ 108,971	5,022
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	86,744	86,312	▲ 432	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	215,909	215,909	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 149,461	▲ 158,770	▲ 9,309	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	851,079	861,798	10,719	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 830,783	▲ 832,625	▲ 1,842	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	86,744	86,312	▲ 432
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	86,744	86,312	▲ 432
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	86,744	86,312	▲ 432	
資産の部合計	86,744	86,312	▲ 432					
備考	行政費用では、消費税の増額に伴う実績額が増えたため、物件費が増加した。また、工事請負費の減少により維持補修費が少なくなっている。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	58	92	92	92.0	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	1,392	1,531	2,010	1,926	
	区民1人当たり年間コスト(円)	399	438	576	552	
	1日当たりコスト(円)	253,806	256,200	366,406	351,033	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度:直営から業務委託に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	地域の行楽・憩いの場として幅広い年齢層の方々に利用されている。また、近隣区からの利用者も多い。					
現状・課題	○ 老朽化した施設について、機能回復及び安全性の確保を図る必要がある。 ○ バリアフリー化していないトイレのバリアフリー化について検討する。					
課題に対する現時点での考え	○ 施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設から計画的に更新していく。 ○ 東京都下水道局と連携を図りながら、トイレ施設の整備について検討していく。					
議会、利用者等からの意見	○ 平成25年2月予特 バリアフリーに対応したトイレについて ○ 平成28年9月決特 公衆・公園トイレの改修について ○ 令和2年2月建設環境 公衆・公園トイレの整備方針について					



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-04		
施設名	その他公園				
所在地	34か所				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築		国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日		職員数			
構造		階層			
面積	敷地面積		95,142 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯	人々のレクリエーションの空間の提供、良好な都市景観の形成、都市環境の改善、都市の防災性の向上等を図る。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	都市公園法 荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	○ エレベーター ● 点字ブロック	● だれでもトイレ ● スロープ	
駐輪場の状況	有				



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から — まで	
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	—				
	休日	—				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
	整備箇所数 (累計)	33	34	34	34	34
	その他公園面積 (合計)	93,514	95,142	95,142	95,142	96,921
に指定 管理等 費用						
備考						

III 財務諸表

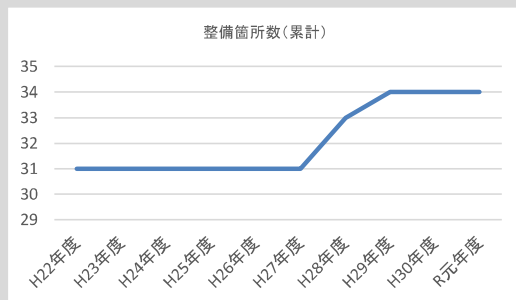
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	160,582	171,727	▲ 11,145	国庫支出金	2,000	0	▲ 2,000
	維持補修費	22,710	9,995	▲ 12,715	都支出金	11,050	23,657	12,607
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	792	822	30	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	41,199	43,223	2,024	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	13,050	23,657	10,607
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 255,246	▲ 302,216	▲ 46,970
	その他行政費用	43,013	100,106	57,093	金融収支差額 (d)	▲ 201	0	201
	行政費用合計 (b)	268,296	325,873	57,577	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 255,447	▲ 302,216	▲ 46,769
	特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0
	特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 255,447	▲ 302,216	▲ 46,769
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	21,696,493	22,704,476	1,007,983	賞与引当金	0	0	0
	土地	21,256,586	22,244,554	987,968	その他の流動負債	0	0	0
	建物	374,554	398,988	24,434	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 175,189	▲ 185,492	▲ 10,303	特別区債	0	0	0
	工作物等	1,551,150	1,589,954	38,804	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 1,310,608	▲ 1,343,528	▲ 32,920	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	23,411	57,977	34,566	正味財産	21,727,354	22,769,903	1,042,549
	その他の固定資産	7,450	7,450	0	正味財産の部合計	21,727,354	22,769,903	1,042,549
資産の部合計	21,727,354	22,769,903	1,042,549	負債及び正味財産の部合計	21,727,354	22,769,903	1,042,549	
備考	行政費用では、消費税の増額に伴う実績額が増えたため、物件費が増加した。また、工事請負費の減少により維持補修費が少なくなっている。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	84	77	77	76.9	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	3,591	2,316	2,820	3,425	
	区民1人当たり年間コスト(円)	1,602	1,034	1,258	1,528	
	1日当たりコスト(円)	936,027	603,832	735,058	892,803	
	1か所当たり年間コスト(円)	10,048,529	6,482,323	7,891,059	9,584,500	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	公園・児童遊園面積(ha)	目標値 —	—	—	—	—
		実績値 43	43	43	43	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	町会等のイベントや保育園の利用が多い。ボール遊びができる施設へのニーズが高い。					
現状・課題	○「荒川区花と緑の基本計画」で掲げている公園等面積55.2haを目指し、公園面積の拡充を図っているが目標達成のためには、さらに整備を進める必要がある。 ○老朽化した施設について、機能回復及び安全性の確保を図る必要がある。 ○バリアフリー化していないトイレのバリアフリー化について検討する。					
課題に対する現時点での考え	○公園等面積の整備目標達成に向けて、都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点をもって、地域バランスを考慮しつつ、更なる用地の確保に努める。 ○施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に更新していく。					
議会、利用者等からの意見	○平成27年度11月会議 ドラッグストアの設置について ○平成28年度6月会議 ボール遊びができる公園について ○平成28年9月決特 公衆・公園トイレの改修について ○平成29年度2月会議 公園等のオープンスペースの活用促進について ○令和2年2月建設環境 公衆・公園トイレの整備方針について					



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-05		
施設名	児童遊園				
所在地	71か所				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積		33,506 m ²		
	延床面積		- m ²		
設置目的・経緯	児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進するとともに情操を豊かにする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立児童遊園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○ エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から -	まで
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	整備箇所数(累計)	73	72	72	71	71
	児童遊園面積(合計)	35,388	35,500	34,640	34,640	33,506
指定管理 に係る費用						
備考						

III 財務諸表

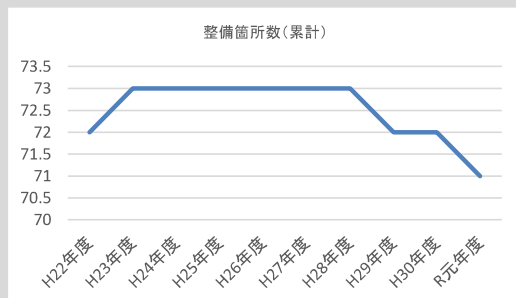
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	48,256	49,152	896	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	16,905	10,249	▲ 6,656	都支出金	1,145	0	▲ 1,145
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,740	1,704	▲ 36	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	16,950	16,530	▲ 420	その他	0	99	99
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,145	99	▲ 1,046
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 96,915	▲ 92,092	4,823
	その他行政費用	14,209	14,556	347	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	98,060	92,191	▲ 5,869	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 96,915	▲ 92,092	4,823
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 96,915	▲ 92,092	4,823
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	5,815,329	5,827,535	12,206	その他の流動負債	0	0	0
	土地	5,681,925	5,686,298	4,373	固定負債	0	0	0
	建物	52,613	66,959	14,346	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 34,969	▲ 34,767	202	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	811,834	820,696	8,862	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 696,074	▲ 711,651	▲ 15,577	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	5,823,429	5,827,535	4,106
	建設仮勘定	8,100	0	▲ 8,100	正味財産の部合計	5,823,429	5,827,535	4,106
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	5,823,429	5,827,535	4,106	
資産の部合計	5,823,429	5,827,535	4,106					
備考	行政費用では、消費税の増額に伴う実績額が増えたため、物件費が増加した。また、工事請負費の減少により維持補修費が少なくなっている。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	84	83	85	84.1	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	2,729	3,413	2,762	2,597	
	区民1人当たり年間コスト(円)	454	536	460	432	
	1日当たりコスト(円)	265,389	313,304	268,658	252,578	
	1か所当たり年間コスト(円)	1,326,945	1,566,520	1,343,288	1,262,890	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	公園・児童遊園面積(ha)	目標値 —	—	—	—	—
		実績値 43	43	43	43	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	防災施設へのニーズが高い。					
現状・課題	○「荒川区花と緑の基本計画」で掲げている公園等面積55.2haを目指し、公園面積の拡充を図っているが目標達成のためには、さらに整備を進める必要がある。 ○老朽化した施設について、機能回復及び安全性の確保を図る必要がある。 ○バリアフリー化していないトイレのバリアフリー化について検討する。					
課題に対する現時点での考え	○公園等面積の整備目標達成に向けて、都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点をもって、地域バランスを考慮しつつ、更なる用地の確保に努める。 ○施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に更新していく。					
議会、利用者等からの意見	○平成21年2定 密集地域における公園用地確保について ○平成28年9月決特 公衆・公園トイレの改修について ○平成29年2月予特 児童遊園の多機能型トイレについて ○令和元年6月 児童遊園総点検について					



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-06		
施設名	グリーンスポット等				
所在地	22か所				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積		14,461 m ²		
	延床面積		- m ²		
設置目的・経緯	公園や児童遊園を補完するとともに、身近な居住環境の向上を図る。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○ エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から -	まで
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	グリーンスポット整備箇所数(累計)	15	15	15	15	15
	広場整備箇所数(累計)	6	6	7	7	8
指定管理 に係る費用						
備考						

III 財務諸表

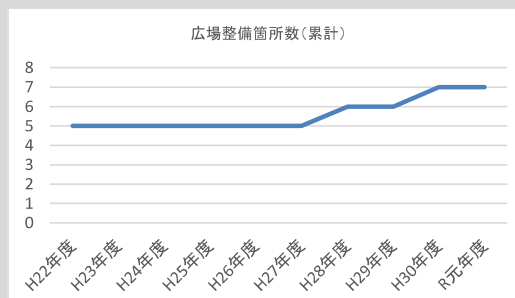
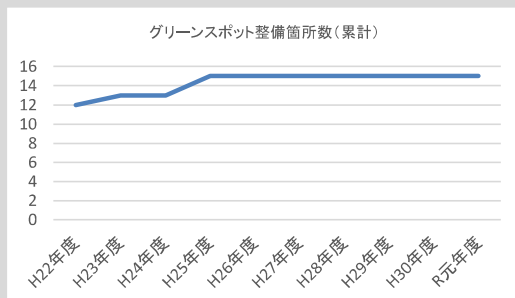
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	16,152	18,503	2,351	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	125	363	238	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	10,649	12,501	1,852	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 58,401	▲ 31,367	27,034
	その他行政費用	31,475	0	▲ 31,475	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	58,401	31,367	▲ 27,034	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 58,401	▲ 31,367	27,034
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 58,401	▲ 31,367	27,034
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	3,146,674	3,134,173	▲ 12,501	その他の流動負債	0	0	0
	土地	3,012,699	3,012,699	0	固定負債	0	0	0
	建物	37,541	37,541	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 8,789	▲ 9,815	▲ 1,026	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	359,387	359,387	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 254,163	▲ 265,639	▲ 11,476	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	3,146,674	3,134,173	▲ 12,501
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	3,146,674	3,134,173	▲ 12,501
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	3,146,674	3,134,173	▲ 12,501	
資産の部合計	3,146,674	3,134,173	▲ 12,501					
備考	行政費用では、消費税の増額に伴う実績額が増えたため、物件費が増加した。							

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	71	74	66	69.4	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	6,080	2,138	7,222	3,879	
	区民1人当たり年間コスト(円)	231	81	274	147	
	1日当たりコスト(円)	134,699	58,394	160,003	85,937	
	1か所当たり年間コスト(円)	2,341,190	1,014,952	2,781,000	1,493,667	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	防災施設へのニーズが高い。					
現状・課題	○一部のグリーンスポットにおいては、区との協定に基づき、町会が維持・管理を行っている。					
課題に対する現時点での考え	○現在、委託により維持・管理を行っているグリーンスポットについても、区民との協働による維持・管理を検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-07		
施設名	土木管理事務所				
所在地	東日暮里三丁目7番17号				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成元年	101,450	国・都	区債
	増改築①			一般財源	
併設施設					
竣工年月日	平成 2年 3月31日		常勤・非常勤	7	その他
供用開始年月日	平成 2年 4月 1日	職員数	7		0
構造	鉄骨造	階層	地上2階		
面積	敷地面積	467㎡ m ²			
	延床面積	360㎡ m ²			
設置目的・経緯	道路・公園等の維持管理作業を行う作業員の詰所として設置。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	<input type="radio"/> エレベーター <input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> だれでもトイレ <input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から
事業内容	道路及び公園等の維持補修				
対象者	土木管理事務所職員				
運営時間等	運営時間	—			
	休日	—			
施設基本データ等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
指定管理 に係る費用					
備考					

III 財務諸表

		勘定科目			勘定科目			(単位:千円)				
		H30年度	R元年度	差額	H30年度	R元年度	差額	H30年度	R元年度	差額		
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	46,429	40,301	▲ 6,128	地方税等	0	0	0	0	0	
		物件費	2,619	2,105	▲ 514	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		維持補修費	596	272	▲ 324	都支出金	0	0	0	0	0	
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	
		補助費等	68	68	0	使用料及び手数料	0	0	0	0	0	
		減価償却費	3,348	3,348	0	その他	0	0	0	0	0	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	0	0	
		賞与・退職給与引当金繰入額	4,163	5,635	1,472	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 57,223	▲ 51,729	5,494	▲ 57,223	▲ 51,729	5,494
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0	0
		行政費用合計(b)	57,223	51,729	▲ 5,494	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 57,223	▲ 51,729	5,494	▲ 57,223	▲ 51,729	5,494
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 57,223	▲ 51,729	5,494	▲ 57,223	▲ 51,729	5,494
貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	2,616	2,429	▲ 187	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0	
		有形固定資産	453,981	450,633	▲ 3,348	賞与引当金	2,616	2,429	▲ 187	0	0	
		土地	449,619	449,619	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	
		建物	101,450	101,450	0	固定負債	35,612	27,015	▲ 8,597	0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 97,088	▲ 100,435	▲ 3,347	特別区債	0	0	0	0	0	
		工作物等	5,083	5,083	0	退職給与引当金	35,612	27,015	▲ 8,597	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 5,083	▲ 5,083	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	38,228	29,444	▲ 8,784	0	0	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	415,753	421,189	5,436	415,753	421,189	5,436
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	415,753	421,189	5,436	415,753	421,189	5,436
資産の部合計	453,981	450,633	▲ 3,348	負債及び正味財産の部合計	453,981	450,633	▲ 3,348	453,981	450,633	▲ 3,348		
備考	行政費用では、給与関係費が主たる支出である。											

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	87	93	96	99.0	
	1㎡当たりコスト(円)	160,550	194,006	158,953	143,692	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: _____)						
目標指標	指標名・単位		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
		目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他(_____)						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: _____) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	道路及び公園等の維持補修を行う作業員の詰所として必要不可欠である。						
現状・課題	○老朽化した建築物全体の計画的修繕を実施する必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○施設の機能・性能の保身に努めながら、大規模改修及び修繕を計画的に推進する。						
議会、利用者等からの意見							